

2017年に就職して結婚し、二人の子どもに恵まれ、仕事と子育ての両立の日々を送っています。

子どもの急な体調不良時も、職場の理解と協力があがり、働き続けることができています。

時短勤務のため、「記録はできてる？帰れる？」と気遣ってくれ、「子どもさん体調大丈夫？」と心配してくれる職場の雰囲気は私の大きな支えです。また、たわいもない話も、心の励みになっています。

看護師として医療的ケアだけでなく、利用者さんの「生活＝人生」に寄り添うことの大切さを学びました。これからも、1人ひとりがその人らしく過ごせるように、サポートしていきたいと思っています。



友藤 未紗
看護師・6年目

びわこ学園医療福祉センター草津



長友 かなで
看護師・4年目

びわこ学園医療福祉センター野洲

びわこ学園に看護師として就職をして、4年目になります。はじめは何もできず、先輩方に色々なことを見て聞いて学び、なんでできないんだろうと思うことが多々ありました。ですが、回数を重ねるごとに出来ることが増えていくのが嬉しかったのを覚えています。今でも分からないことは多いですが、先輩に相談しながら業務をこなしています。

仕事をしていくうちに、新しい業務が増えてきて時間配分がうまくいかず焦ることがありましたが、利用者さんとの会話や関わり、笑顔から癒しをもらいがんばろうと思えることが多くありました。

これから経験することが多くあると思うので一つ一つを大事にして利用者さんと関わったり、看護師として働いていけたらなと思っています。



私は社会人から看護師になり、新卒でびわこ学園に入職しました。初めは覚えることが多く、日々の業務をこなすことに精一杯でよく先輩からは「落ち着け」と諭されていました。入職してからずっとめまぐるしく気づいたら10年経っていたという感覚です。

改めて10年という月日を振り返ってみると私は利用者さんや職員みんなに恵まれ、支えられながら働いていたなと思います。10年間の中で利用者さんのエピソードは沢山あって書ききれませんが、いいことも悪いことも利用者さんから全部教えてもらってきました。本当にありがとうございます。

これから先もいろんな事があると思いますが、それでも利用者さんと一緒に毎日過ごしていきたいと思っています。



後藤 敦貴
看護師・11年目

びわこ学園医療福祉センター野洲



尾崎 悠
看護師・4年目

びわこ学園障害者支援センター・
生活介護事業所えがお

びわこ学園に最初は臨時的任用職員として働き、現在は正規職員（長浜市・米原市の委託事業である医療的ケア児等コーディネーター専従）として4年目になります。

思い返せば、就職した当初は利用者さんの身体に触れるのも怖く、生活介護（えがお）での看護や障害福祉・地域生活のことが理解できないまま進む日々でした。毎日、今日こそ退職すると言おう、と思っていましたが、利用者さんやご家族さん、職員の皆様の支えがあって今日まで過ごしております。

現在は地域支援を主に、様々な問題解決などに取り組んでおり、地域支援でのやりがいや楽しさを感じている毎日です。これからも医療的ケア児等の皆さんが、その人なりの地域生活が歩める何かしらの一助になれるよう、精進していきたいと思っています。